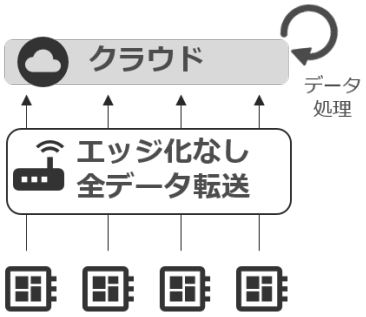
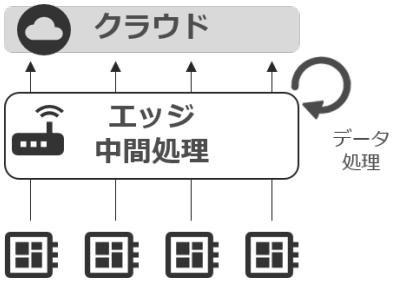
西菱電機
SEIRYO ELECTRIC

ニュースリリース

2018 年 11 月 14 日
西菱電機株式会社

IoT の課題を解決「エッジコンピューティング」のサービス開始

西菱電機株式会社（本社事務所：大阪府大阪市、代表取締役社長：西岡 伸明、以下「西菱電機」）は、2018 年 11 月 14 日より、「エッジコンピューティング」対応ゲートウェイの提供を開始いたします。これにより、IoT の課題である、データの通信頻度や通信量、接続するセンサーデバイスの数量が多い場合の通信でもシステムが安定します。

項目	フルクラウド	エッジコンピューティング
構成		
データの流れ	大量データをすべてクラウドに送信する	エッジで中間処理して 必要データのみクラウドに送信する
セキュリティ	クラウドに計測データ（生データ） が蓄積される	クラウドにサマリーデータ が蓄積される
安定性・接続性	✓クラウドの安定性 ✓センサーデバイスの接続数 などに制限が発生しやすい	✓システム全体の安定性向上、 ✓クラウド利用時のボトルネックの軽減、 ✓センサーデバイスの接続数拡大 などが可能になる

■概要

エッジコンピューティングとは、サーバ機能の一部を端末に近いところに配置する方法であり、必要なデータのみクラウドへ送信します。データの通信頻度や通信量を抑えることでネットワークの負担が軽減され、ゲートウェイで処理できる端末数が増加、セキュリティ対策として計測データ（生データ）を自社内で保持する場合にも最適です。

■料金

項目	種別	価格（税別）	備考
ゲートウェイ	標準	35,000円	
	産業用	59,800円	
エッジ化対応	パラメーター調整	300,000円	計測データを用いてパラメータの変更
	機能追加	800,000円	計測データを用いてマイページを作成
	オーダー	個別見積り	外部データの利用など新しい機能を開発・追加
サービス料金		※1	※1 各IoTデバイスのサービス料に準ずる

西菱電機
SEIRYO ELECTRIC

■将来機能

将来的には以下の機能の搭載を検討しております。

・クラウド障害時のデータ欠損防止機能（フェイルセーフ機能）
・センサーデバイスの稼働監視機能
・ゲートウェイ上でのデータ分析機能
・クラウド利用時の機密情報の保護機能

■西菱電機株式会社

携帯情報通信端末の販売及び修理再生などを手がける「情報通信端末事業」、情報通信機器及びシステムの開発、販売、保守、運用を手がける「情報通信システム事業」、IoT サービスを中心とする「IoT 事業」を展開する ICT ソリューション企業です。

■「Seiryo Business Platform (SBP)」とは

「Seiryo Business Platform(SBP)」とは、西菱電機が提供する Internet of Things(IoT)サービスとコミュニケーションツールの総称です。IoT やコミュニケーションツールを活用したデータ計測や自動化により、業務の数値化や手間の多い業務の効率化など、お客様の現場改善と生産性向上をご支援いたします。

【本件に関するお問い合わせ先】
西菱電機株式会社　本社事務所：大阪市北区堂島 2-4-27 新藤田ビル
広報グループ（本社事務所）TEL：06-6345-4160
事業開発本部（東京支社）　TEL：03-5777-3944　E-mail：info@cs.seiryodenki.co.jp